

参加者からの声

- 一般からの参加させていただきました。講師の先生の優しいお人柄、障害者を理解しているという情熱に心打たれました。健常者にとって発達障害はやっかいでめんどくさい、できれば関わりたくない存在だと思います。社会（学校、地域）で受け入れられ、社会に参加できるように私たちが支え戦って（大袈裟かな？）行かなければと思いました。最後、公民館の會澤さんのお話は胸に染みる内容でした。本日はありがとうございました。また少しがんばれそうです。
- 本人の特性をしっかりと見て生きやすい社会にしていく事が大切ですね。社会はお互い助け合っているのだから障害あるなしに関わらず理解して特別な行動に意識を向けすぎない様にしたいです。協力できる時は気持ちよくあたたかく受け入れていく行動を心がけたいです。
- お話を聞いて、障害の有無にかかわらず、結局は1人1人子どもの特性を理解して接すると言う事が大切なのだと感じました。子どもがお腹の中に出て母親になる時わが子にもし障害があったら・・・と不安に思うことがあり、障害を受け入れるということがどれだけのことかと思うことがありました。けれど障害というものは一生を通じて身近なものであり（けが・事故など）当たり前のこととしてあるということをお忘れず人と人として支え合うことが大切だと思いました。
- 発達障害についての話を聞くのは初めてでしたが実際に症例を交えたお話でわかりやすかったです。勉強になりました。ありがとうございました。
- 私は数年前「光とともに」という自閉症のマンガを読みました。そのおかげか今日の先生のお話や事例が「ああ、あの時のシーンか・・・」というようにわかりましたが、このことを全く知らない人にわかってもらうのは大変な事だと思いました。発達障害の子は見たかんじ普通なだけにまわりの理解を得るのは本当に大変だし母親の育て方が悪いと言われたりして傷ついたり・・・！1日でもはやく色々な人がこの事をわかってもらえる努力が必要だなと思います。
- 社会生活で支障がある・・・障害という考えとても良く理解できました。大まかな知識ではなく個々をよく見て理解するということが支援につながると思うので今後役立てられたら良いなと思います。
- 発達障害、ぼんやりとしていた部分が今回の講演をお聞きして少し理解できた気がします。わが子はまだ小さくて障害などわかりにくい年齢ですが支援方法での視覚的な支援のスケジュール表は毎日の生活の中で取り入れていくと小さい子にもわかりやすく我が家でも実践してみたいなと思いました。
- 私は職業柄多少知識を持ってからの参加。新たに深まった点等勉強になりました。全く身近でない方、初めて詳しく知った方には本当によい機会となったのでは？と思います。色々な

方々の知識を高めることがより良い支援につながっていくと思います。

- 今子育てをしていて「もしかしたら??」と思う場面があります。2歳のときに発達相談を受けたことがあります。3歳までは様子を見るようにとのことでした。最近成長と共に心配も減ってきましたが今日のお話を聞いて「やっぱりそうかな」ということもありました。この先発達障害としても、今日聞いた話を参考に向き合っていきたいと思います。
- 発達障害についてあらためて勉強することが出来ました。講演を聞く度に、新しい言葉（今回は「トゥレット障害」とか・・・）が増えていて理解が進んでいるんだなと思いました。15年位前だと「自閉症」という言葉がほとんどで「広汎性」という言葉がようやく聞かれ始めた頃でした。（私が知らなかっただけでも知れませんが・・・）周りの人が発達障害について知っている、知らないで子どもに対する接し方があわてないで出来ると思いました。ありがとうございました。
- 自閉症とか発達障害というものが言葉としては知ってはいましたが具体的にどういうものなのかははっきりわかっていなかったのも先生のお話を聞いてよくわかったのもよかったです。ありがとうございました。
- 発達障害にはいろんな種類があるんだと感じました。とってもいいお話が聞けました。
- 今日はいろいろと為になるお話を聞かせて頂き本当にありがとうございました。今私の上の子は成人式を迎えましたけど下の妹2人が反抗期に入っています。部活動の練習でとても大変ですがやはり私はどちらかと言うと子供達のはけ口になっています。障害はあまり見受けられませんが色々二人共大変な時期ですね。色々大変ですけどくじけないで頑張ろうと思っています。
- 講義、大変勉強になりました。発達障害について「障害」のとらえ方を改めて考えました。どういう関わり方がいいのか考えることは診断名の有無を問わずに考えるべきなのかなと思います。
- その子本人の特性を理解してあげる事が何より大事だとわかりました。支援の方法は「目が悪い人にメガネ」というのと一緒というのが印象に残り特性を1人1人が理解すること、この子はこんな子とよく見てあげることが大事だと思いました。1人で抱え込まずみんなが楽に関われる方法を探しその子のいいところ、良く出来ているところを伸ばしてあげる事が大事だと思いました。自分ができることからしてみようと思いました。今日はありがとうございました。
- 初めて参加させていただきました。うちの子は発達障害で不登校です。自分でも色々勉強をしていましたが、聞いたことのない言葉だらけでした。今日参加して意味も少しわかる様になったのでとても良かったです。ありがとうございました。
- 発達障害、まわりにもよほど仲のいい人でもなければどんななのかも遠慮して聞けないし具体的にこちらがどうしていいのかもわかりませんでした。ドラマで見たときにはわかりやすく「はあ～こういうものなのか」と、1つの例としてわかりました。子どもの頃にクラスにやたら暴れる子がいてケガをさせられました。嫌いでしたが、こういう話を聞くともしかしてその子はそうだったのかも。合った対応をしていたら暴れずにすんだのかもと思いました。こういう特性で、こういう対応のしかたをすればいいとクラスのみ

んなに教えてもらえていたら嫌われたり迷惑がられたりせず仲良くできたのかもと思いました。こういう話を聞く機会があつてよかったです。

- 私は社会生活の中で生きづらさを感じている人がいた時その人や家族の自助努力だけで変えようとしていく社会はさみしい社会だと思います。未来を担う子ども達。本当にその子の特性はひとりひとり素敵な個性でそういった子に、教えられることはとても多く新しい視点や素晴らしい瞬間感動をもらえる時間がとても多いです。そんな素敵なひとりひとりとみんなそれぞれが生きやすくなるようにより多くの人々が互いを理解して「支援する」のではなく互いに支えあつて皆が生きやすい地域を作っていきたいです。それは難しいことではないと最近思えてきています。
- 今回初めて合同学習会に参加させていただきました。私の子どもに発達障害の子がいます。小さい頃に病院で診断されました。親としてはショックでしたがそういう子は純粋でまっすぐな子です。人に対しても自分の方がいろいろ出来ないながらも優しく思いやりのある姿を見ていて少しずつ成長してくれて嬉しく思う今日この頃です。講演会にたくさんの方が来ていてこれだけの人が感心をしてくれたのだとほっとしました。これから未来に向けて君津の人々も障害の人が住みやすくなる市になる事を望みます。またこういう機会がありましたら参加させてもらいたいと思います。
- 発達障害について短い時間で全て説明しつくすのは大変なことだと思いますが、事例も交えてのお話で理解しやすかったです。以下、先生の話の中でポロリポロリと響く言葉がありましたので書き留めたいと思います。
 - 「症状は一生続く、だが問題は減らせる」
 - 「常に常識を疑う。その常識はその子にとっても常識なのか？」
 - 「障害とはそれによって周りとのへだたりになるもの」
 - 「本人にとって生きやすい世の中」「社会の中に生きている」
 - 「能力が低いのではなく自閉症だから必要」
- 発達障害についてどの様な症状があるのかをお話を聞いて学ぶ事ができました。色々な事例を聞いていて普通の生活のなかでも同じようなことはあるなと思い障害のある子だけが何も特別ではないのかもしれないと思いました。また詳しくお話を聞くことができればよいなと思いました。
- 自分も子どもも「こだわり」を持っているが日常生活に問題がなければ「趣味」というのがすごくわかりやすかったです。そして症状は続くけれども対応や支援で問題を減らすことが出来るのを聞いて疲れてきていたのでちょっと距離をおこうと思ったのですがずっと見守っていくことでその子の特性が見えてくるだろうと思うので頑張ってみようと思います。

※以上の感想については事前に君津市ホームページ掲載に関し了解済みです。転載はご遠慮下さい。